

日本ディサースリア臨床研究会主催

第7回

STのための

会員限定

ミニレクチャー

発話と摂食嚥下に対する
呼吸機能アプローチ

発話（Speech）と摂食嚥下（Swallowing）の活動には、どちらも呼吸機能が密接に関係しています。呼吸機能が低下すると、発声の動力源である呼気流の産生や維持が困難となり、声量低下や喉頭調節の異常など発話の障害を引き起こします。嚥下においては、呼吸と嚥下の位相関係が崩れることで、正常な呼吸と嚥下のパターンに影響を及ぼします。発話と摂食嚥下の両者に関係する呼吸機能を評価し、適切なアプローチを行うことが重要です。本ミニレクチャーでは、発話と嚥下、呼吸の相互関係を概観し、呼吸機能の評価とアプローチの方法について解説します。高齢者の発話と嚥下の運動機能向上プログラム（Movement Therapy Program for Speech & Swallowing in the Elderly：MTPSSE）の「呼吸筋の運動」についても紹介します。

日時

2024年

9月25日（水） 19：00-20：00

開催

方法

Zoom
ウェビナー

定員：300名

※申し込み先着順で、定員になり次第
締め切らせていただきます

講師

広島国際大学
福岡達之 先生

参加

費用

日本ディサースリア臨床研究会 会員：無料
※非会員の方は入会後にお申し込みください

参加

申込

申込受付開始：8月上旬～

受付方法についてはあらためてご連絡いたします。

お問い合わせ

日本ディサースリア臨床研究会ミニレクチャー実行委員会
E-mail：koho@dysarthrias.com